慣用句(中級)プリント17

月　日　名前 _____

問1　甘やかさず（　）を鬼にする。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 目
2. 顔
3. 手
4. 心

問2　試合で地元のチームに（　）入れする。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 頭
2. 肩
3. 足
4. 手

問3　「一か八か」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 一か八か、この難しい試験に全力をかけて挑戦してみる。
2. 一か八か、教科書を読んでテストの準備を整えた。
3. 一か八か、今日の夕食はカレーライスを作ることにした。
4. 一か八か、明日の遠足は晴れるといいなと思っている。

問4　彼の自慢話は（　）持ちならない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 耳
2. 目
3. 鼻
4. 口

問5　「気を配る」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 料理に気を配って焦がしてしまった。
2. お客様が快適に過ごせるよう気を配る。
3. 部屋の隅に気を配って掃除を忘れた。
4. プレゼントを配るために気を配った。

問6　料理が得意な父が（　）を振るう。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 腰
2. 首
3. 足
4. 腕

問7　彼の功績は枚挙に（　）がない。（　）に入る言葉はどれですか？

1. いとま
2. すき
3. ひま
4. はま

問8　「目を配る」の意味はどれですか？

1. 相手の欠点を見ないふりをして許す
2. 不安を感じて、落ち着きなく視線を動かす
3. 相手の過ちを厳しく指摘して見張る
4. 全体に注意が行き届くように、あちこちを見る

問9　「腹の虫が治まらない」の意味はどれですか？

1. おなかがすいて、ぐうぐう鳴る
2. 心配なことがあって、夜もねむれない
3. 腹が立って、どうしても気持ちがしずまらない
4. おなかが痛くて、じっとしていられない

問10　「歯に衣着せぬ」の意味はどれですか？

1. 準備をせずに、ぶっつけ本番で挑む
2. 相手に遠慮せず、思ったことをずけずけと言う
3. 秘密を隠さず、すべてを正直に打ち明ける
4. 身なりを整えず、だらしない格好をする

問11　「心に刻む」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 忘れないようにメモ帳を心に刻む。
2. 心に刻むために、毎日鏡の前で笑う。
3. 卒業式の校長先生の言葉を心に刻む。
4. 彫刻刀で木を削って心に刻む。

問12　「耳をすます」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 耳をすまして、音楽を大音量で流した。
2. 静かな夜、遠くの物音に耳をすます。
3. 大きな音で耳をすますと、鼓膜が痛くなる。
4. 耳をすまして、大きな声で歌を歌った。

問13　「頬を膨らます」の意味はどれですか？

1. 恥ずかしさで顔を赤らめて頬を熱くする
2. 食べ物を口いっぱいに詰め込んで頬を大きくする
3. 驚いて息を吸い込み、頬を丸くする
4. 不満や怒りを感じて、口を閉じて頬を突き出す

問14　誰に対しても（　）が低い人だ。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 腰
2. 鼻
3. 頭
4. 目

問15　「気が引ける」の意味はどれですか？

1. 相手の態度に反発を感じる
2. 相手に対して申し訳なく思い、自信がなくなる
3. 自分の気持ちを抑えて無理をする
4. 物事に対して興味を失う

問16　「舌を鳴らす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 見事な手品に、観客は思わず舌を鳴らした。
2. おなかがすいたので、舌を鳴らして食事を待った。
3. 大きな声で舌を鳴らして、相手を威嚇した。
4. 楽器の練習で、舌を鳴らしてリズムをとった。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます

慣用句(中級)プリント17　答え合わせ・解説

問1　答え 4　心
「心を鬼にする」の「心」の部分が入ります。 意味は「相手のためを思って、あえて厳しく接する」です。

問2　答え 2　肩
「肩入れする」の「肩」の部分が入ります。 意味は「特定の側をひいきして、援助や支持をする」です。

問3　答え 1　一か八か、この難しい試験に全力をかけて挑戦してみる。
「一か八か」の正しい使い方は「一か八か、この難しい試験に全力をかけて挑戦してみる。」です。 意味は「結果がどうなるか分からないが、運を天に任せてやってみること」です。

問4　答え 3　鼻
「鼻持ちならない」の「鼻」が入ります。相手の言動が自慢たらしく、がまんできないようすを表します。

問5　答え 2　お客様が快適に過ごせるよう気を配る。
「気を配る」の正しい使い方は「お客様が快適に過ごせるよう気を配る。」です。 意味は「あれこれと細かい点まで注意を払う」です。

問6　答え 4　腕
「腕を振るう」の「腕」の部分が入ります。 意味は「持っている能力や技術を十分に発揮する」です。

問7　答え 1　いとま
「枚挙にいとまがない」の「いとま」の部分が入ります。 意味は「数が非常に多くて、いちいち数えきれないこと」です。

問8　答え 4　全体に注意が行き届くように、あちこちを見る
「目を配る」は「全体に注意が行き届くように、あちこちを見る」という意味です。

問9　答え 3　腹が立って、どうしても気持ちがしずまらない
「腹の虫が治まらない」は「腹が立って、どうしても気持ちがしずまらない」という意味です。

問10　答え 2　相手に遠慮せず、思ったことをずけずけと言う
「歯に衣着せぬ」は「相手に遠慮せず、思ったことをずけずけと言う」という意味です。

問11　答え 3　卒業式の校長先生の言葉を心に刻む。
「心に刻む」の正しい使い方は「卒業式の校長先生の言葉を心に刻む。」です。 意味は「忘れまいとして、深く記憶にとどめる」です。

問12　答え 2　静かな夜、遠くの物音に耳をすます。
「耳をすます」の正しい使い方は「静かな夜、遠くの物音に耳をすます。」です。 意味は「音を聞き漏らさないように、注意して聞く」です。

問13　答え 4　不満や怒りを感じて、口を閉じて頬を突き出す
「頬を膨らます」は「不満や怒りを感じて、口を閉じて頬を突き出す」という意味です。

問14　答え 1　腰
「腰が低い」の「腰」の部分が入ります。 意味は「相手に対して謙虚で、丁寧な態度をとる」です。

問15　答え 2　相手に対して申し訳なく思い、自信がなくなる
「気が引ける」は「相手に対して申し訳なく思い、自信がなくなる」という意味です。

問16　答え 1　見事な手品に、観客は思わず舌を鳴らした。
「舌を鳴らす」の正しい使い方は「見事な手品に、観客は思わず舌を鳴らした。」です。 意味は「舌で音を立てて、不満を表す。また、おいしさや感心を表す」です。